

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	市道等管理事業(吉永)		コード	担当課	吉永総合支所産業建設課管理係
			01-01-11-12	担当者	吉田正人
事業実施期間			電話	84-2513	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	道路			
	施策	市道の整備促進			

事業について	
目的	市道等の適正な管理。
対象(誰のために)	市道利用者及び関係者
内容	吉永地域内 219路線約111kmの市道外道路等の管理事務。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
道路法許可件数	26 件		
道路等占用等許可件数	2 件		
境界立会件数	13 件		
市道認定等件数	1 件		
その他の許可等件数	0 件		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	156	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,637	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,793	一般財源等	2,793	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.37	人
結果指標名	許可等事務件数	
結果指標量	42	
単位	件	
対前年比	—	0.00%
事業費	2,793,000	円
単位当たりコスト①	66,500	円

結果指標名	許可等事務件数	
結果指標量	42	
単位	件	
対前年比	—	0.00%
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果		
成果指標名	苦情件数	式又は説明
成果指標量	17年度 0	
対前年比	—	
到達目標値	0	到達目標年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	本業務は道路法、市道路・普通河川等管理条例等に基づく業務である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	事業費については大半が人件費である。
	手段の最適化	
有効性の評価	市民関与の妥当性	事前の協議、指導等によりトラブルの防止に努めた。
	職場の効率化	
	目的達成度	
市民参画度		

総合評価	
コメント	特に問題なく業務が実施できた。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量 0

改善事項	
評価の視点	改善内容
	改善時期
	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。